



ハイライト

- 膨大な量のデータ・ファイルをより素早く分析
 - SQL プッシュ・バックにより、パフォーマンスを向上
 - 効率的な分析処理により、分散拠点をサポート
 - 分析者の生産性を向上
 - 機密データや知的財産に関するセキュリティを強化
-

IBM SPSS Statistics Server

大規模データ・セットを扱った分析の パフォーマンスを向上

IBM SPSS Statistics Server では、IBM SPSS Statistics のすべての機能を使用できますが、処理がサーバー・マシンで一元管理されるため、より高いパフォーマンスを実現できます。分散拠点のある組織に最適で、デスクトップにデータ・ファイルを転送する必要がないため、生産性が向上します。また、クライアント版の SPSS Statistics では使用できない分析手続きが備えられ、大量のデータ・セットであってもより優れたパフォーマンスを実現できます。次の 2 つの製品の組み合わせによる、強力なクライアント/サーバー・アーキテクチャーを特色としています。

- SPSS Statistics クライアント・ソフトウェア: 詳細なデータ検索、分析のレポート作成およびモデル作成に使用
- SPSS Statistics Server ソフトウェア: 部門単位の分析業務から、組織内の何百、何千という規模のユーザーの業務まで処理可能

トップクラスの分析ツールおよび分析手法の強みを、サーバー機能の柔軟性およびスピードと組み合わせることで、企業全体にわたって、より優れた意思決定をサポートする強力なソリューションを提供します。

より高いパフォーマンスを実現

SPSS Statistics Server は、複数の予測変数がある大規模データ・セットで作業する場合に、最適なパフォーマンスを得られるように設計されています。分析手続きで使用できる CPU 数/コア数に制限はなく、マルチスレッド手続きに使用できるスレッドの数にも制限はありません。並べ替えや集計のような操作はデータベースに送り返して、高速で実行できます。分析手続きで作成された一時ファイルは、複数のディスクにストライピングでき、大規模ファイルは並べ替え時に圧縮されるので、ディスク・スペースを節約できます。これにより、パフォーマンスが向上し、分析をスピードアップできます。

SPSS Statistics Server の最新バージョンには、既存の IT インフラストラクチャーを最大限に活用できるよう支援する SQL プッシュバック機能が組み込まれています。データを独自仕様の形式から変換することなく変換できるようになったため、リソースの節約、結果のより素早い提供、および全体的な IT コストの削減に役立ちます。また、プッシュバックする新規の変換を作成するために、データベース・ウィザードを更新できるようになりました。



分析者の生産性を向上

SPSS Statistics Server は、分析者の効率および生産性を大幅に向上するハイパフォーマンス機能を提供します。例えば、デスクトップで他の作業を続けながら、複数の分析ジョブを同時に実行できます。また、分析や出力の質を損なうことなく、サーバーから切断した状態でサーバー・ジョブの実行を続行し、その後サーバーに再接続して、完了したジョブにアクセスできます。さらに、管理機能により、優先度の割り当てをサポートし、優先度の高いユーザーのためにリソースを確保します。

分散拠点での効率を向上

拠点間のデータ転送は非常に時間がかかる可能性があるため、SPSS Statistics Server は主に複数拠点で分析を行う組織で使用されています。SPSS Statistics クライアントを SPSS Statistics Server に接続するよう構成した場合、すべての分析はサーバー・マシン上で実行されます。サーバー・マシンは一般に、中央のデータセンター内にデータとともに設置されます。そのため、ネットワークを介してデータを転送する必要がなくなり、ネットワーク全体にわたって、帯域幅の使用効率およびアプリケーションの総合的なパフォーマンスが向上します。

繰り返しタスクを自動化

SPSS Statistics Server のバッチ機能 (StatisticsB) により、定期的に生成する必要のあるレポートや、オフピーク時に実行される大規模データ・セットを伴うデータ準備などの繰り返しタスクを簡単に自動化およびスケジュール化できるようになります。これらの時間のかかるタスクを自動化することで、分析者や管理者の時間をより有効に活用しながら、効率的に情報を得ることができます。

セキュリティおよび標準化を強化

多くの場合、分析は、機密性のあるデータや組織の知的資産を成すデータなどに対して行われます。また、業界によっては、高いアクセス権限が必要なデータの機密性が政府規制によって保護されています。SPSS Statistics Server では、データは通常、情報漏えいリスクの高いローカル・デスクトップではなく、サーバーに一元管理されます。データが一元管理されるため、すべての分析者に最新バージョンのシンタックスやデータ・ファイルを確実に使用させることを標準として徹底できます。

分析者のアクセスを常に保護

リモートで作業中の分析者や出張中の分析者が組織のファイアウォール内のデータを分析する場合、基礎となるデータやパフォーマンスの機密性が損なわれていないことを確認する必要があります。SPSS Statistics Server は、クライアントとサーバー間の通信を暗号化するために Secure Sockets Layer (SSL) をサポートしています。また、トンネリング・プロトコルおよび NAT もサポートしています。データをエンド・ユーザーのマシンにダウンロードする必要がないため、リモート・ユーザーはより高いパフォーマンスを得ることになります。

投資をさらに活用

分析への取り組みから最大価値を引き出すには、組織内の知的資産を効率的に活用できるようにすることが重要です。SPSS Statistics Server と IBM SPSS Collaboration and Deployment Services との統合により、高度な自動化機能、スケジューリング機能、展開機能を十分に活用できます。分析者は数回クリックするだけで、ビジネス・ユーザーが直接アクセスできるポータルに分析結果を公開できます。さらに、ジョブの実行や結果の公開のプロセス全体を自動化できます。

拡張されたスケーラビリティを活用

SPSS Statistics Server は、SPSS Collaboration and Deployment Services と統合した場合、ネットワークの負荷分散とフェイルオーバー保護を実現するようにクラスター化することができます。これにより、SPSS Statistics Server は、部門単位の分析業務から、企業内の何百、何千という規模のユーザーの業務まで対応するように、シームレスに拡張できます。

高度な分析とスコアリングを使用

SPSS Statistics Server では、多数の予測変数がある大規模データ・セットにおいて、効率的かつ正確にモデルを構築するために設計された Naïve Bayes アルゴリズムと「予測変数の選択」手法を提供しています。また、新規データにスコアを付けるために使用できるスコアリング・エンジンも備えています。ユーザーは、SPSS Statistics または IBM SPSS Modeler で作成した XML モデルを複数開いて、そのモデルで新規データにスコアを付けることができます。

機能

クライアント/サーバー・アーキテクチャー

- データをサーバー上に置き、分析時にもユーザーのマシンにダウンロードしないため、ネットワーク・トラフィックを削減
- サーバー・レベルのハードウェアを使用することで、膨大な量のデータ・セットをより素早く分析
- 大量の計算処理をサーバー側で行うことにより、分析作業をスピードアップし、デスクトップを他のタスクのために解放

より高いパフォーマンス

- マルチスレッド手続きで使用できる CPU 数/コア数は無制限
- 並べ替えや集計のような操作はデータベースに送り返して、高速で実行
- 並べ替え作業中に大規模な一時ファイルの圧縮をサポート
- 並べ替え作業時に並べ替えたファイルを保存できるため、余分なデータの受け渡しがなくなる
- 分析中に作成された一時ファイルのデータ圧縮をサポートすることで、時間のかかるディスク I/O を最小限に抑える
- 新機能! SQL プッシュバックにより、データを独自仕様の形式に変換することなく変換
- 新機能! データの非同期読み取りによって、より素早くデータを手続きに渡すことが可能
- 大規模データ・セットで作業する際のパフォーマンスと拡張性を向上させる、PSM 手法をサポート (自動線形モデリングでのみ使用可能)
- コンパイル済み変換のサポートにより、計算や再コード化などのよく使用されるデータ操作手続きのパフォーマンスが向上
- クライアント/サーバー・アーキテクチャーによって、拠点間で大きなファイルを転送する必要性を低減
- 64 ビットのハードウェアをサポートすることで、大規模データ・セットで作業する際のパフォーマンスを向上
- サーバーで分析とデータ・アクセスを実行し、ユーザーのデスクトップを他のタスクのために解放
- デスクトップ自体のパフォーマンスを損なうことなく、1 台のデスクトップから複数のジョブを実行可能

高度な分析

- Naïve Bayes アルゴリズム: 各変数を独立した値または同値として扱うことで、ケースの分類を予測
- 予測変数選択アルゴリズム: モデリングに関連する変数のみを得るために、関連しない大量のデータをフィルタリング

SQL DBMS でのコピーが不要なデータ・アクセス

- アクセス高速化のためにデータベースからアクセスされるキャッシュ・データ

複数セッションを起動する機能

- 1 台のデスクトップ上で複数の SPSS Statistics セッションを同時に実行

セキュリティー

- ご使用のベンダーのセキュリティー・フレームワーク内で効率的に作業
 - クライアントが SPSS Statistics Server にアクセスする際にパスワード保護が必要
 - セキュリティー・レベルを設定。データ・ソースにアクセスする際にパスワードが必要
- SPSS Statistics クライアントおよび SPSS Statistics Server 間のシングル・サインオン
- SPSS Statistics Server を UNIX/LINUX で非ルートとして実行するオプション
- SSL テクノロジーをサポート
- 新機能! ネットワーク障害時の回復力を向上
- 新機能! ODBC プーリングによって、より信頼性の高いデータベース接続を実現
- リモート・ユーザーがデータと SPSS Statistics Server をファイアウォールで安全に保護しながら、外部からデータを分析できるようにする。その際に、SPSS Statistics Server に組み込まれた、次のような国際標準の最新の通信プロトコルを使用:
 - Point-to-Point Tunneling Protocol (PPTP)
 - Level 2 Tunneling Protocol (L2TP)
 - Network Address Translation (NAT)
- 分析者によるデータ・ビューの閲覧を防止

クライアント/サーバーの互換性

- クライアント・モードとサーバー・モードを容易に切り替え可能
- 異なるリリース・レベルの SPSS Statistics クライアントおよび SPSS Statistics Server をサポート (クライアント v21 および Server v20)
- マルチプラットフォーム環境 (例えば、Windows クライアントと UNIX サーバーの組み合わせ) をサポート
- 複数地域/言語のサポート (例えば、日本語版およびフランス語版の SPSS Statistics クライアントを、1 台の英語版の SPSS Statistics Server に接続可能)



Statistics バッチ機能 (StatisticsB)

- SPSS Statistics によるデータの準備や統計レポートの作成を自動化。UNIX スクリプトのコマンド・シンタックス・ファイルまたは Windows バッチ・ファイルを使用。アクティブな SPSS Statistics クライアントまたは接続された SPSS Statistics クライアントは不要
- 出力形式: テキスト、HTML、XML、SAV、SPV
- 準備したデータを SPSS Statistics (SAV) ファイル形式で保存
- OMS コマンドを使用して出力を操作

管理者向けの機能

- サーバー上で SPSS Statistics の使用をモニターおよび管理
 - ユーザー・セッションを開始/停止
 - サーバー処理を開始/停止
 - イベント・ログを記録
 - 個々のユーザーに優先度を割り当て
 - 個々のユーザーに一時ファイル用の固有のディスク・スペースを割り当て
 - ユーザーの接続を切断
- 単一の管理ユーティリティを使用して、SPSS Statistics、SPSS Modeler、および SPSS Collaboration and Deployment Services での作業が可能

システム要件

要件はプラットフォームによって異なります。詳しくは、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/spss/requirements

IBM Business Analytics について

IBM Business Analytics ソフトウェアは、企業がよりスマートな働き方を実現し、競合他社に打ち勝つのに役立つデータ駆動型の洞察を提供します。IBM Business Analytics の包括的なポートフォリオには、ビジネス・インテリジェンス、予測分析と意思決定管理、パフォーマンス管理、およびリスク管理のためのソリューションが含まれます。

Business Analytics ソリューションは、顧客分析など、ビジネスのパフォーマンスに重大な影響を及ぼす可能性のある分野の、傾向やパターンの特定と視覚化を実現します。シナリオの比較、潜在的な脅威や機会の予測、リソースのより優れた計画、予算立て、および予測、期待利益とリスクのバランスの見極め、ならびに規制上の要件への対応を可能にします。企業は、分析を広く活用することで、ビジネス目標の達成のために戦術的および戦略的な意思決定の整合性をとることができます。詳細情報については、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/analytics

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19-21

IBM のホーム・ページはこちらからご覧になれます。

ibm.com

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Cognos、OpenPages、および SPSS は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

© Copyright IBM Corporation 2013



Please Recycle